

カリキュラム・マップ（外国語学研究科 言語学専攻）								
教育研究上の目的								
本課程は、言語学の知識を基にして特定の言語を深く考察し、その知見を言語学のさらなる理解と活用に生かします。 また、専門的知識と専攻言語の高いコミュニケーション能力に支えられた課題分析力と問題解決力を駆使し、強い倫理観と信念をもって、よりよい社会・システム構築のために貢献し続けられる人材を養成します。								
ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）								
DP1	専攻語および言語学について体系的な知識を有する。							
DP2	専攻語や英語などで書かれた専門書・学術論文の内容を正確に理解する技能を有する。							
DP3	研究課題を適切に設定し、必要な資料・データを適切に収集・整理・分析し、論理的に結論を導く技能を有する。							
DP4	言語の考察を通じて、その言語にかかわる文化や社会を理解する能力を有する。							
DP5	専攻語と言語学の知識を駆使して、国内外の実務の世界で指導的な立場に立って活躍できる力を有する。							
授業科目名		単位数	配当年次	資質・能力				
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
				◎ 学修効果を上げるために履修することが特に強く求められている科目 ○ 学修効果を上げるために履修することが強く求められている科目				
専門教育科目								
記述言語学研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
歴史言語学研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
対照言語学研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
応用言語学研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
意味論・語用論研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
日本語学研究		2	1	◎	◎	◎	◎	
記述言語学セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
歴史言語学セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
対照言語学セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
応用言語学セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
意味論・語用論セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
日本語学セミナー		2	1	◎	◎	◎	◎	
記述言語学発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
歴史言語学発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
対照言語学発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
応用言語学発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
意味論・語用論発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
日本語学発展セミナー		2	2	◎	◎	◎	◎	
記述言語学特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
歴史言語学特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
対照言語学特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
応用言語学特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
意味論・語用論特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
日本語学特講		2	2	◎	◎	◎	◎	
日本語特講A		2	1	○	○	○	○	
日本語特講B		2	1	○	○	○	○	
ドイツ語特講A		2	1	○	○	○	○	
ドイツ語特講B		2	1	○	○	○	○	
フランス語特講A		2	1	○	○	○	○	
フランス語特講B		2	1	○	○	○	○	

授業科目名	単位数	配当年次	資質・能力				
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			◎ 学修効果を上げるために履修することが特に強く求められている科目 ○ 学修効果を上げるために履修することが強く求められている科目				
スペイン語特講A	2	1	○	○	○	○	
スペイン語特講B	2	1	○	○	○	○	
イタリア語特講A	2	1	○	○	○	○	
イタリア語特講B	2	1	○	○	○	○	
ロシア語特講A	2	1	○	○	○	○	
ロシア語特講B	2	1	○	○	○	○	
朝鮮語特講A	2	1	○	○	○	○	
朝鮮語特講B	2	1	○	○	○	○	
インドネシア語特講A	2	1	○	○	○	○	
インドネシア語特講B	2	1	○	○	○	○	
言語研究におけるコンピュータ利用A	2	1	○	○	○	○	
言語研究におけるコンピュータ利用B	2	1	○	○	○	○	
研究指導Ⅰ	2	2	◎	◎	◎	◎	◎
研究指導Ⅱ	2	2	◎	◎	◎	◎	◎